

- 問1 19世紀初め、江戸を中心に発展した、町人の活力や庶民の感情を反映した文化を何といいますか。この文化では、葛飾北斎による浮世絵の風景画などが広く親しまれました。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 元禄文化 2. 天平文化 3. 東山文化 4. 化政文化
- 問2 16世紀後半から17世紀半ばにかけて、ネーデルラント（現在のオランダなど）の人々が、カトリックの信仰を強制する他国の支配から脱するために独立を宣言しました。このとき、オランダが独立を勝ち取った相手国はどこですか。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
1. イギリス 2. スペイン 3. ポルトガル 4. フランス
- 問3 三代将軍徳川家光が、参勤交代を義務付ける規定を盛り込んだ法令の名称はどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 公事方御定書 2. 五箇条の御誓文 3. 武家諸法度 4. 禁中並公家諸法度
- 問4 松平定信が「寛政の改革」を進めた背景には、前任者である田沼意次の政治に対するどのような反省があったと考えられますか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 外国との貿易を完全に遮断し、鎖国体制をより強固にしようとした 2. 武士に商業活動を奨励し、幕府の財政難を解消しようとした 3. 朝廷との協力体制を強化し、公武合体による幕政の安定を図ろうとした 4. 商業重視の政策による政治の腐敗を正し、農本主義的な規律を取り戻そうとした
- 問5 江戸時代に行われた朝鮮との外交に関する記述として、最も適切なものはどれですか。なお、この使節団は日本橋を起点とする東海道などの街道を通して江戸へ向かったことが記録されています。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. 宗氏が領主を務める対馬藩が仲介役となり、将軍の代わりなどの祝賀のために朝鮮通信使が来訪した。 2. 長崎奉行の管理のもと、オランダ商館長が貿易の継続を求めて東海道を通り参府した。 3. 島津氏が領主を務める薩摩藩が仲介役となり、琉球王国の使節が日本橋を目指して東海道を進んだ。 4. 松前藩が窓口となり、アイヌの代表者が北方交易の儀礼のために定期的に江戸へ派遣された。
- 問6 19世紀、江戸幕府の体制が揺らぐ中で高まった「天皇を尊び、外国勢力を排除しよう」とする尊王攘夷思想の拠点となり、大老の井伊直弼が暗殺された「桜田門外の変」において、実行犯の多くを輩出した藩はどこですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 水戸藩 2. 土佐藩 3. 長州藩 4. 会津藩
- 問7 江戸幕府が全国の大名を統制するために用いた、徳川氏の一門、関ヶ原の戦い以前からの家臣、およびそれ以降に服従した大名をそれぞれ区別して呼ぶ名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 門閥・新参・譜代 2. 御家人・非御家人・陪臣 3. 守護・地頭・国人 4. 親藩・譜代・外様
- 問8 江戸時代初期、桂離宮に代表される、茶室の意匠を取り入れ、庭園と建物が調和した洗練された建築様式を何というか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
1. 数寄屋造 2. 寝殿造 3. 書院造 4. 唐様
- 問9 江戸時代に行われた朝鮮通信使の派遣の背景や、その目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 中国の明や清との貿易を独占することを目的として、幕府が直接的に外交ルートを管理するために組織された。 2. 薩摩藩を通じて幕府に服属した地域の使節が、日本の将軍の代わりごとに忠誠を誓うために派遣された。 3. 徳川幕府が対等な立場の国交として位置づけ、将軍の代わり目などの祝賀と幕府の権威を国内外に示すために行われた。 4. 長崎の出島に居住する外国人が、年に一度、幕府への感謝を伝えるために江戸へ参府する制度として確立された。
- 問10 江戸時代の経済を支えた海運（廻船）の効率性について、陸上の馬や河川の川船と比較した説明として最も適切なものを選びなさい。 (2022年 長野県公立入試 類似)
1. 海運は陸路よりも天候の影響を受けやすく運送に時間がかかるため、1人あたりの運送効率性は川船よりも低く設定されていた。 2. 参勤交代の負担を軽減するために開発されたため、物資の運送量よりも大名を安全に運ぶための居住性の高さが優先されていた。 3. 鎖国によって海外との貿易が制限されていたため、幕府は大型船の建造を禁止し、1人あたりの運送量は馬による輸送と同程度であった。 4. 馬1頭で1人が2俵を運ぶ陸上交通や、4人で200俵を運ぶ川船に比べ、廻船は16人で2500俵を運ぶなど、1人あたりの運送量が圧倒的に多い。
- 問11 百姓一揆の際に作成された「からかさ連判状」において、署名が円形に配置された主な目的として最も適切なものはどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 将軍への直訴であることを明確にするため 2. 五人組制度に基づく連帯責任を強化するため 3. 中心人物が誰であるか特定されないようにするため 4. 参加者全員の身分を証明するため
- 問12 杉田玄白らが『解体新書』を出版するに至った経緯や、その歴史的背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 井原西鶴が町人の生活を描いたことを受け、医学も大衆向けの読み物として普及した。 2. 本居宣長が国学を大成させたことで、日本古来の医学を否定する動きが強まった。 3. 実際の解剖に立ち会い、西洋の解剖図の正確さを確認したことが翻訳のきっかけとなった。 4. 幕府がキリスト教の布教を認めたため、西洋の医学書が自由に輸入されるようになった。
- 問13 江戸時代の農村において、都市の商人が農民に原料や道具を貸し出し、完成した製品を賃金と引き換えに買い取る仕組みが発達しました。この生産体制を何と呼びますか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 座の経営 2. 問屋制家内工業 3. 工場制手工業（マニュファクチュア） 4. 地主手工業
- 問14 松平定信が進めた寛政の改革において、幕府の権威を回復し、武士の思想を統一するために、昌平坂学問所（聖堂学問所）で朱子学以外の講義や研究を禁止した政策を何といいますか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 株仲間の解散 2. 棄捐令 3. 寛政異学の禁 4. 享保の改革
- 問15 江戸時代の農村において、貨幣経済が浸透する直接的な要因となった事柄の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 滋賀県公立入試 類似)
1. 備中ぐわの普及と、金肥（肥料）の購入 2. 新田開発の中止と、農具の共同所有 3. 鎖国による海外取引の停止と、米による納税の徹底 4. 参勤交代の義務化と、物々交換の推奨

答え合わせ・解説

問1	答え 4 化政文化	江戸時代後半、政治の混乱や社会の変化の中で、江戸の町人層を担い手として発展した文化です。18世紀末から19世紀前半（文化・文政期）にかけて全盛期を迎え、浮世絵の風景画や滑稽本など、庶民の好みを反映した多様なジャンルが確立されました。
問2	答え 2 スペイン	当時のオランダ（ネーデルラント）は、ハブスブルク家のスペインによる支配を受けていました。宗教改革の影響でプロテスタントの信仰が広がっていたオランダに対し、カトリックの守護者を自認するスペインが信仰の強制と重税を課したことが、独立運動の大きな要因となりました。この独立を経て、オランダは17世紀に世界貿易の覇権を握り、日本の江戸幕府とも密接な関係を築くことになります。
問3	答え 3 武家諸法度	参勤交代は、1635年に徳川家光が「武家諸法度」を改定（寛永令）した際に、外様大名を含めて義務付けられました。公事方御定書は、後に八代將軍徳川吉宗が制定した裁判や刑罰の基準であり、参勤交代を定めたものではない点に注意が必要です。
問4	答え 4 商業重視の政策による政治の腐敗を正し、農本主義的な規律を取り戻そうとした	田沼意次の時代は、株仲間の推奨など商業を重視したことで幕府の財政は潤いましたが、一方で役人の賄賂などの腐敗や、都市への人口流入による農村の荒廃が問題となりました。松平定信はこれらを批判し、質素倹約を徹底させ、農村を復興させることで幕府の基盤を立て直そうとしました。
問5	答え 1 宗氏が領主を務める対馬藩が仲介役となり、将軍の代替わりなどの祝賀のために朝鮮通信使が来訪した。	朝鮮通信使は対馬藩の仲介によって派遣されました。一行は瀬戸内海を通り、大坂（現在の大阪）からは陸路で日本橋を起点とする東海道などを通り、江戸へと向かいました。華やかな行列が街道を通ることは、幕府の権威を広く民衆や諸藩に示す重要な機会でもありました。他の選択肢にある薩摩藩は琉球、松前藩はアイヌとの関係を担っていました。
問6	答え 1 水戸藩	幕末の水戸藩では、学問としての水戸学が尊王攘夷思想へと結びつき、志士たちの行動に理論的な根拠を与えました。1860年には、幕府の強権的な政治に反発した水戸藩の脱藩浪士らが江戸城の桜田門外で大老を襲撃し、幕府の権威を失墜させる決定的な要因となりました。
問7	答え 4 親藩・譜代・外様	江戸幕府は将軍との血縁や歴史的な結びつきの強さから、大名を3つのグループに分類しました。徳川家の一門を「親藩」、古くから徳川家に仕えて幕政に参画してきた大名を「譜代」、関ヶ原の戦い以降に服従し、原則として幕府の役職には就けなかった大名を「外様」と呼びました。この制度は、幕府が大名を統制し、長期間の安定した支配を維持するための基礎となりました。
問8	答え 1 数寄屋造	桃山時代の豪華で壮麗な城郭建築とは対照的に、江戸時代初期には茶の湯の精神を反映した、質素ながらも洗練された美しさを追求する様式が発達しました。桂離宮はその最高傑作とされ、複雑な屋根の重なりや、自然と一体化した空間構成が特徴です。
問9	答え 3 徳川幕府が対等な立場の国交として位置づけ、将軍の代わり目などの祝賀と幕府の権威を国内外に示すために行われた。	江戸幕府は鎖国政策の下でも、特定の国々とは公的な外交関係を維持していました。特に朝鮮とは対等な礼を尽くす「通信」の国として、対馬藩を介した国交を結んでいました。通信使の華やかな行列は、街道の人々に幕府の外交的な安定と権威を知らしめる象徴的なイベントでもありました。
問10	答え 4 馬1頭で1人が2俵を運ぶ陸上交通や、4人で200俵を運ぶ川船に比べ、廻船は16人で2500俵を運ぶなど、1人あたりの運送量が圧倒的に多い。	江戸時代の物流において、海運が急速に発展した最大の理由は、輸送効率の高さにあります。具体的には、馬1頭と人1人による陸上輸送では2俵、4人がかりの川船でも200俵（1人あたり50俵）ですが、千石船に代表される海の廻船は16人程度の乗組員で2500俵（1人あたり約156俵）を運ぶことが可能でした。このように、労働人数に対して爆発的に多くの物資を一度に運べる性質が、全国的な流通網の形成に大きく寄与しました。
問11	答え 3 中心人物が誰であるか特定されないようにするため	一揆の首謀者は極刑などの重い罰を受けるため、署名の順序をなくして円形にすることで、誰が指導者であるかを隠す意図がありました。また、参加者全員が対等に団結し、同等の責任を負うことを示す意味合いも含まれています。
問12	答え 3 実際の解剖に立ち会い、西洋の解剖図の正確さを確認したことが翻訳のきっかけとなった。	杉田玄白や前野良沢は、処刑された罪人の解剖（腑分け）に立ち会った際、手元にあった『ターヘル・アナトミア』の図が実際の人体の構造と一致していることに驚き、翻訳を決意しました。それまでの伝統的な医学に疑問を投げかけ、客観的な事実を重視する実証的な姿勢は、その後の日本の近代科学の先駆けとなりました。
問13	答え 2 問屋制家内工業	貨幣経済が農村に広がると、資本を持つ商人が農民を組織して製品を生産させる仕組みが現れました。商人が農家へ原料や道具を供給し、農民は自宅加工を行って手間賃（賃金）を得るこの形態を問屋制家内工業と呼びます。これは後の工場制手工業へと発展する前段階の生産方式です。
問14	答え 3 寛政異学の禁	松平定信は、幕府の政治理念として正統とされた朱子学を重視し、それ以外の新しい学問（陽明学や古学など）を制限することで、武士の規律を正そうとしました。これを「寛政異学の禁」と呼び、官吏登用試験も朱子学に基づいて行われるようになりました。
問15	答え 1 備中ぐわの普及と、金肥（肥料）の購入	農業の生産性を向上させる過程で、深耕に適した「備中ぐわ」などの専門的な農具が必要になりました。また、従来の草木灰などではなく、市場で購入する「金肥（肥料）」の使用が一般化したことで、農民は日常的に貨幣を使用する経済構造に組み込まれていきました。このような生産手段の高度化が、農村における貨幣の必要性を生み出しました。